

平成24年(ヨ)第262号・同第318号

関西電力大飯原子力発電所3号機、4号機運転差止仮処分命令申立事件

債権者 262名

債務者 関西電力株式会社

## 証拠説明書

2012(平成24)年9月3日

大阪地方裁判所 第1民事部 合議係 御中

債権者ら代理人

弁護士 冠 木 克 彦

弁護士 武 村 二三夫

弁護士 大 橋 さゆり

復代理人

弁護士 高 山 巖

弁護士 瀬 戸 崇 史

号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨	備考	
甲125	大飯発電所 原子炉 設置変更許可申請書 (3, 4号炉増設) 添付十	写し	昭和60 年2月 (昭和6 1年2月 一部補 正)	関西電力	蒸気発生器伝熱管破損事故について、事故、重大事故、仮想事故それぞれに関する解析結果。制御棒挿入時間を2.2秒とし(解析条件)、単一故障の仮定をおいて解析した結果。	
甲126	平成15年度 安全 余裕の検討に関する 報告書	写し	平成16 年8月	原子力安 全基盤機 構	甲55号はIAEAやOECDの考えに立っている。OECDでは2002年末から安全余裕の検討がなされているが、その背景・動機として定格出力を上昇させたり運転期間の延ばしたりすること等があり、そのため「過度な保守性を排除した合理的な安全余裕の定量的な評価手法」の確立を目的とする検討がなされ、その流れの中に制御棒の安全余裕検討もあること。	
甲127	PWR制御棒挿入時 間延長感度解析につ いて	写し	平成20年 10月27日	関西電力	制御棒挿入性に関する安全余裕検討部会第1回に提出された関西電力の感度解析結果。このときは目安時間を3.5秒としている。	
甲128	PWR安全基準を包 絡する制御棒挿入目 安時間について	写し	平成20年 10月27日	関西電力	制御棒目安時間についての最初の解析。目安時間を2.2秒、3.5秒、9.5秒と変えたときの判断基準であるDNBR値との関係を求めている。	
甲129	総検第4-1号で示 された質問に対する 回答の2の添付1 PWR制御棒挿入試験 及び評価の概要	写し	平成24年 3月13日	原子力安 全基盤機 構耐震安 全部	制御棒挿入性に関する試験の目的が新耐震指針に新たに導入された残余のリスクの評価等のための耐力の評価に置かれていること。	
甲130	平成17年度 原子 力施設等の耐震性評 価技術に関する試験 及び調査機器耐力そ の2(PWR制御棒 挿入性)に係る報告 書	写し	平成18年 8月	原子力安 全基盤機 構	高振動の地震動に対する施設の耐震性試験の目的が、確率的評価等を行うための耐力データを取得すること等にあること。	
甲131	地震・津波22-2 (地震・津波(地震 動)7-1改)「活断 層の連動を考慮した 地震動評価」に関 する意見聴取会にお ける指摘及び原子力 安全・保安院の対応 方針について(案)	写し	平成24年 8月30日	原子力安 全・保安 院	第7回(H24.8.17)地震・津波に関する意見聴取会(地震動関係)での保安院コメントを補足修正したもの。熊川断層が小浜湾にまで連続している可能性を認めていることなど。	